

□■ 01 サイコロ de トーク ■□

～ サイコロを振って、出た質問に答えておしゃべり ～

新学期や出会いの季節に、まずはお互いのことを知るきっかけのおしゃべり。活動のふりかえりをするための対話のツール。質問を変えればなんでも話せちゃう。どんな質問が出るか、だれが話すか、ちょっとしたドキドキ感を楽しみながらどうぞ。



りょうちゃん

*対象…小学校低学年～
 *人数…2人～
 *時間…10分～
 #おしゃべり#対話#ふりかえり
 #お昼の番組っぽい

用意するもの

- サイコロ状のものをグループに2つ（木製、発砲スチロール製、ウレタン素材、方眼工作用紙で自作可）
- サイコロの面に貼る質問カード6種（子ども達に書いてもらうことも可）
- だれが話すかを定める指示カード6種
 例）振った人、振った人の両隣、振った人が選ぶ、→（矢印が向いている人）、⇄（矢印が向いている2人）、最後に右手を挙げた人



進め方

- (1) おしゃべりをするグループで円に座る。
- (2) だれからサイコロを振るかを定める。
 （じゃんけん以外で決めると Good。「この中で一番手が大きい人から」「誕生日が今日が一番近い人から」など、お題を与えることで、また一つコミュニケーションが生まれる）
- (3) サイコロを振って、指定された人が、指定されたテーマについて話す。（あまり長く話すと進まないなので、手短に！）

答えたくない質問には答えなくてよいという「自己選択ルール」でやると安心した場になる。「パス」ありにする方がよいときもある。

(4) 聴く人は、温かく聴く。

バリエーション

- ・新学期やキャンプ初日など、まずはお互いを知るためのおしゃべり

名前の由来は？ 休みの日の過ごし方は？ 旅行に行くならどこの国？ 趣味は？ もしも魔法が使えたら？ おすすめの本は？ ストレス解消法は？ 怒るとどうなる？ etc…

- ・キャンプや自然学校等の、アクティビティや1日のふりかえりツールとして

1日で（活動の中で）一番印象に残っている場面は？ グループでうまくいったと思うことは？ グループでもっとこうしたらいいと思うことは？ 仲間にしてもらって助かったと思うことは？ あなたがグループの役に立てたと思うことは？ 明日の活動（学校生活）に活かそうなことはあった？ etc…

- ・クラス目標のふりかえりや進捗状況の確認、クラス規範についての現状確認

クラスが安心できる場所になるために必要なことは？ 失敗したとき、どんな風に声をかけてほしい？ クラス目標は何%達成できていると思う？ もっとよくなるために何が必要？ 最近のクラスで良いなあと思ったことは？ 最近困っていることは？ 今、目標に向かってがんばっていることは？ 担任に一言。etc…

注意事項

- ・自己紹介や、夏休みの思い出のような「まずは全員の話聞きたい場合」は、一人がずっと話すよりも、どんどん次の人へターンを回していくことを促し、「コミュニケーションの量と回数」を増やす「軽いおしゃべり」が好ましい。
- ・体験や学習のふりかえりのような場合は、この話は深めたいと思ったら、さらに突っ込んで対話を深める「コミュニケーションの質」を高める場に。
- ・グループ数が多くて、ファシリテーターがふりかえりや対話の場に参加できないときに、このアクティビティは有効。グループメンバーに、話し合いの場を進めるツールを渡して、委ねる。